地域の将来、子供たちの未来のために…　夢ある郷土づくり。

島根県議会議員

池田はじめ 県政だより

二〇二五年 夏号

島根県議会議長就任

池田はじめは皆様方の厚いご支援に支えられ、これまで５期１８年にわたり地元斐川選出の県議会議員として日々努めてまいりましたが、この６月に開かれた定例県議会において、第８２代島根県議会議長に就任することとなりました。これも日頃より支援していただいている皆様のおかげです。今後も初心を忘れることなく丸山県政をしっかり支え、職務に尽くしてまいります。ご存知の通り、島根県は人口減少が進み、特に離島・中山間地域をはじめ、存続が厳しい地域が増加しています。県は現状を何とか打開しようと丸山知事就任直後より島根創世計画を作成し、今年度よりその第２期計画が始まったところです。私の役目は県内各地域の代表である県議会議員を纏め、司令塔である丸山知事との意思疎通をしっかり行い、スムーズに県政が進むように努める事です。財政力が極めて厳しい島根県。知事と県議会が同じ認識・思いで力を合わせ県政を進めていく事が一番重要であり、私はそのまとめ役です。島根県はその他課題が山積しています。これからも丸山知事とともに未来のある島根を創っていきたいと思いますので、ご支援のほどよろしくお願いします。





丸山知事対談



島根県知事
丸山達也

島根県議会議長
池田はじめ

池田

丸山知事、本日はお忙しい中お時間を頂き、誠にありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

丸山知事

こちらこそ、よろしくお願いします。まずは池田先生、議長ご就任誠におめでとうございます。

池田

ありがとうございます。しっかり議会を纏め、島根県政が順調に前に進むよう、全力を尽くしていきたいと思います。そのためにも、丸山知事との意思疎通は重要であると思います。どうかよろしくお願いします。

丸山知事

こちらこそ池田議長を頼りにしています。どうかよろしくお願いします。

池田

さて、現在島根県は人口減少問題をはじめ、多くの問題を抱えています。その中で今年度より第２期の島根創生計画が施行されることになりました。丸山知事の今計画に込める思いをまずお聞かせください。

丸山知事

池田議長のおっしゃる通り、島根県は多くの問題を抱えています。人口減少、少子高齢化、中山間・離島地域の疲弊など、数えればきりがありません。県は昨年まで第１期計画を推し進めていましたが、その間はコロナ緊急対策に追われるという思わぬ事態となりました。県政においてもまず県民の暮らし、安心安全の確保対策が一番の課題となり、創生計画は思うように進められなかった状況です。一方で、県民一人一人が愛着と誇りをもって笑顔で暮らせる「島根の暮らし」を守り次の世代に引き継いでいく、との県民の皆様の思い、願いを実現するという基本的な考え方は変わっていないため、第２期計画は「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を引き続き目指す将来像とし、長期の数値目標である「合計特殊出生率 2.07」を2045 年まで、「人口社会移動均衡」を 2040 年まで、いずれも達成時期を 10 年延長させていただく事にしました。高い目標ではありますが、成果を着実に積み上げていきたいと思います。

池田

丸山知事におかれては、1 期目からコロナ対応、大変ご苦労さまでした。しかし、その時の丸山知事の俊敏で的確な行動・発言は、県民をいつも一番に考えたものであり、県議会にも理解され、また、県民を大きく勇気づけたものと思います。県議会は丸山知事が今後進められる第二期島根創生計画に対して、全力で支援したいと思います。ところで、この目標達成のために重要な事は何だと知事はお考えですか。

丸山知事

やはり島根において次代を担う子供たちを増やし、定着できる活気あふれる地域にするためには、何をやっていけばいいか。ということではないでしょうか。現在、東京一極集中が大きな問題となっていますが、東京は日本の将来を見据えて少子化問題を考えていません。東京一極集中の是正は、東京の超過密により悪化している生活環境や子育ての改善と、地方の過疎の改善を同時に実現でき、出生率が低い地域から高い地域に若者が移動することにより日本全体の出生数が増える、といった東京も地方も日本全体もメリットがある政策であり、東京で暮らす方々にもメリットがあることを理解してもらうことが必要です。そして、島根で育った子供たちが島根で働くことを選択肢の一つとして考えてもらえるよう取り組んでいくことも重要であると思います。



池田

そうですね。子供たちは都会では社会に組み込まれて働かされている。もちろん生きていく為には生活の「糧」となる「仕事」は必要ですが、東京にあるのはそれだけです。島根には豊かな自然や文化と歴史、加えて支え合う地域の人々の温かさや広い心があります。それに子供たちには気づいてもらいたい。そのようなふるさと教育を地道にしっかりやっていく事が必要だと思います。

丸山知事

一度は都会に出て様々な経験をする事もあるとは思いますが、都会で暮らす中で、改めて島根の良さに気づいてほしい。そして帰ってきたいと思う若い人を受け入れる環境づくりが大切だと思います。現状子供たちは都会に出ていっても、帰ってくる子供が少ない。島根県内の 20 代から 30 代の未婚成人の人口割合は女性 1 に対して男性が約 1.3 と、女性の割合が極端に少なくなっています。これは全国的傾向ですが、特に女性については顕著です。地方において女性が働き甲斐のある、働きやすい職場を提供できるかがポイントであり、その為の環境整備や支援策が県の重要な役目の一つであると思います。

池田

知事が一期目から取り組まれた放課後児童クラブや子供医療費制度の拡充などはその一環ですよね。そして県は「女性活躍推進プラン」を策定され、より女性が働きやすい、暮らしやすい環境づくりに取り組もうとされています。女性が働きやすい企業の表彰制度の確立や、特に知事が直接各分野、各地域の女性の意見を聞く取り組み「女性活躍 100 人会議」では、本当に貴重な多くの意見が交わされ、施策に反映されていますよね。

丸山知事

昨年度も公務の合間の時間を工面し、五ケ所で開催しました。現場の声がしっかり聞け、大変有意義な会であったと思います。頂いたご意見は「女性活躍推進プラン」に基づく各事業に生かし、女性の働きやすい、暮らしやすい環境づくりに役立てています。

池田

県に課された課題は、その他まだまだたくさんある訳ですが、昨今の諸問題に対する国の対応を見ると、都会の事ばかり考えて地方の事を全く考えていないと思う事がしばしばあり、丸山知事はことあるごとに国に対して、言うべきことをしっかり訴えていらっしゃいます。

丸山知事

池田議長のおっしゃる通り、国にはしっかりした国家観を持って頂きたい。物価高騰や実際賃金の減少などによる若者の将来不安の増加などの問題が山積していますが、県レベルで解決することは不可能です。国が日本全体の枠組みをしっかりと設定することが必要です。さらに、都会と地方との賃金格差が地方の若者により大きな将来不安を抱かせ、これが東京一極集中を招いています。特に島根のような地方は注目もされませんし、何もしなかったら見向きもされません。だから時には言いすぎるぐらいに言わないと相手にもされない。地方の声は言いすぎるぐらいで丁度いいのです。

池田

先ほども言いましたが、知事の発言はいつも県民目線で、なおかつ鋭い。だから県民も丸山知事を信頼しています。私もこれまで以上に知事との意思疎通をしっかり図り、国に訴えるべきものはしっかり訴え、同じ思いでビジョンを持って県民の将来のための県政を進めて行かなければと思います。

丸山知事

島根県の財政は脆弱ですので、限られた予算で成果を出すには、県議会、県民の皆様と私が常に同じ思いで同じ方向に進んでいく事が必要であると思います。私も常に県民の思いをしっかり汲み取り、県議会の皆様の声に耳を傾け、しっかりしたビジョンを持って県政を進めていきます。池田議長、よろしくお願いします。特に池田議長の地元斐川地域は、農業や製造業をはじめ島根県産業全体を牽引する重要な地域であり、これからの島根発展に欠かせない地域です。池田議長には今後とも様々なご指導をいただきたいと思います。

池田

ありがとうございます。力を合わせて頑張りましょう。本日は貴重なお時間、ありがとうございました。

丸山知事

こちらこそ、ありがとうございました。





伸びしろのある斐川地域の発展

斐川は出雲市、そして島根県発展に欠かせない大きな推進力を持ち、まだまだ伸びしろのある重要な地域です。斐川地域の各種整備が、今後の島根発展に繋がります。

●出雲空港ターミナルビル拡張整備

出雲空港の乗降旅客客数は年間 100 万人を超え、今後 110 万、120 万人と更に増えていくものと思います。私は昨年 11 月議会で空港ターミナルビル整備強化の質問を行いました。今年度より改装整備工事が始まります。



搭乗待合室改修計画

●出雲児童相談所の新設整備

手狭になった現在の出雲児童相談所が斐川町神守に移設・新設される事になりました。出雲・雲南地域をカバーする新しい県施設です。


完成イメージ図

●斐川・上島線武部工区工事

国内で度重なる災害が続き、少し遅れが出ていましたが、いよいよ本格的に斐川上島線武部工区工事が進みます。令和 9 年度完成を目標にラストスパートです。






●湖岸北・新中央地区揚排水機場整備

食糧確保は我々の重要な使命。令和 12 年にかけて、総額約 60 億円をかけた農業基盤整備湖岸北・新中央地区の土地改良整備事業が進みます。また、斐伊川河床低下による渇水対策が喫緊の課題となっています。今後抜本的な対策事業を進めていきたいと思います。






編集後記

混乱する国際情勢の中、国内政治も混沌としている昨今ですが、島根県政の状況は厳しさを増しています。厳しい財政の中、県政運営の両輪である丸山知事と県議会が同じ方向を向き、県政を正しい方向にコツコツ前に進めていく事が島根県民の為であると思います。県議会をしっかりまとめ、丸山知事と充分な意思疎通を図っていく事が私の重要な役目です。これからもしっかり働いていきます。

皆様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

●発行・連絡先：**池田はじめ事務所**
●編集：池田　一
●住所：〒699-0612 出雲市斐川町出西 2833　電話 0853-73-7720　FAX 0853-73-7721
●ホームページ：http://ikeda-hajime.com